

総合施工管理報告書(鉄筋継手, 定着工事)				
工事名 (仮称)★★新築工事			施工管理 責任者	●●太郎 印
使用箇所	定着ー基礎梁、柱 主筋		業者名	□□工業 ▲▲三郎
検査日	20◇◇年/◇月/◇日		検査者	△△四郎
呼び名	D22, 25 D29	鋼種	SD345 SD390	作業者 ◇◇次郎
天候	晴れ	外気温度	20℃	
◆継手工事	有機グラウト固定式 基礎梁主筋端部			
作業手順	確認事項	検査基準	検査数量	合否判定
①資格	認定証または 認定リスト	認定証を所持しているか、または、資格認定リスト に氏名・受講認定日等の記録があるか。	全員	⊕・否
②材料受入	鋼種と径、かん合 マーキング	(鋼種と径)識別マーク (かん合マーキング)鉄筋の両側の正しい位置に マーキングがあるか、色は正しいか	詳細別紙	⊕・否
③鉄筋の接合	カプラーと鉄筋の かん合確認	カプラー両端がマーキングに収まっているか	同上	⊕・否
④ナットの トルク締め	固定ナットの 締め付け確認	締め付け方向にマーキングがずれているか	同上	⊕・否
⑤グラウトの 練り混ぜ	グラウト強度 および 施工性の健全性	フロー試験 グラウトM2 90～180mm	同上	⊕・否
⑥グラウトの 注入	充填確認	グラウト材がカプラー両端から溢れ出しているか	同上	⊕・否
◆定着工事	有機グラウト固定式 基礎梁主筋終端部			
作業手順	確認事項	検査基準	検査数量	合否判定
①資格	認定証または 認定リスト	認定証を所持しているか、または、資格認定リスト に氏名・受講認定日等の記録があるか。	全員	⊕・否
②金物の取付	かん合長さ の確認	定着プレートの先端から鉄筋が出ているか	詳細別紙	⊕・否
③グラウトの 注入	充填確認	グラウト材がカプラー両端から溢れ出しているか	同上	⊕・否
④定着位置	定着長さ、 最短部の計測	配筋要領書、配筋詳細図	同上	⊕・否
⑤補強筋	仕様、本数	配筋要領書、配筋詳細図	同上	⊕・否
備考	詳細別紙(鉄筋継手・定着外観検査チェックシート)による			

資料 3-4 受入検査報告書（様式 2） 記入例

受入検査報告書(ネジプレート定着工法)					
工事名	●●新築工事		品質管理管理者	▲▲▲ 印	
使用箇所	基礎梁、柱 主筋		検査者	○○○○	
検査日	20◇◇/○○/■ ■				
材料	ロット・検査番号等	確認事項	検査基準	検査数量	合否判定
ネジバー (鉄筋母材)	オーダーNo S5-60 ~ S5-85	JIS規格 大臣認定 (高強度)	出荷案内書およびミルシートより 規定されている規格(降伏強度)	全数	⊕ 否
カプラー	オーダーNo 2510B2R0064 2510B2R0018 2510B2R0020	外観・品質	①寸法形状等問題のないこと ②検査成績書により下記確認 (1)引張強さ 1200N/mm ² 以上 (2)耐力 900N/mm ² 以上 (3)伸び 2%以上	同上	⊕ 否
ナット	伝票No U149 882, 883 808, 809, 810 811 U150 929	外観	寸法形状等問題ないこと	同上	⊕ 否
ネジプレート	オーダーNo 2510B2R0064 2510B2R0018 2510B2R0020	外観・品質	①寸法形状等問題のないこと ②検査成績書により下記確認 (1)引張強さ 1200N/mm ² 以上 (2)耐力 900N/mm ² 以上 (3)伸び 2%以上	同上	⊕ 否
無機グラウト	タイプM D1121	外観・品質	①有害と認められる異物が混入していない ②検査成績書により下記確認 (1)圧縮強度 出荷時 75N/mm ² 以上 (2)フロー試験 90~180mm(タイプM)	8+4	⊕ 否
有機グラウト	タイプY 主剤212541 硬化剤212542	性能	圧縮強度 90N/mm ² 以上	詳細別紙	⊕ 否
備考	詳細別紙(ファイル No▲▲ 材料受入検査記録)による				

資料 3-5 接合部検査報告書（様式 3） 記入例

接合部検査報告書（鉄筋継手，定着工事）													
工事名		△△新築工事						品質管理 責任者	●●建設	△△太郎			
使用箇所		1G、1C 定着－大梁上下端主筋						検査者	●●建設	◇◇次郎			
検査日		20□□年/□□月/□□日						作業者	〇〇工業	□□三郎			
天候		晴れ						外気温度	7℃				
接合部			定着		有機グラウト固定式				1G上下端主筋端部				
No	隅、側、中柱内	鋼種SD	呼び名D	鉄筋識別				ネジプレート の先端、鉄筋の出		グラウト充填	検査 数量		
1	B3 Y3,X1-2	490	35	白				○		○	22/6		
2	B5 Y4,X1-2	〃	〃	〃				○		○	19/0		
3	B6 Y4,X2-3	〃	〃	〃				○		○	0/19		
4	B7 Y5,X1-2	〃	〃	〃				○		○	18/0		
5	B7 Y5,X2-3	〃	〃	〃				○		○	0/18		
6	B2 Y6,X1-2	〃	〃	〃				○		○	15/0		
7	B2 Y6,X2-3	〃	〃	〃				○		○	0/15		
8	G2 X1,Y3-4	490	35	白				○		○	0/1		
9	G7 X2,Y3-4	〃	〃	〃				○		○	0/8		
10	G3 X1,Y4-5	〃	〃	〃				○		○	0/0		
11	G8 X2,Y4-5	〃	〃	〃				○		○	0/0		
12	G12 X3,Y4-5	〃	〃	〃				○		○	1/0		
13	G4 X1,Y5-6	〃	〃	〃				○		○	15/0		
14	G9 X2,Y5-6	〃	〃	〃				○		○	16/0		
15	G13 X3,Y5-6	〃	〃	〃				○		○	14/0		
15	B4 Y3,X2-3	490	35	白				○		○	6/21		
16	B1 Y1,X1-2	〃	〃	〃				○		○	21/21		
接合部			定着		有機グラウト固定式								
No		鋼種SD	呼び名D	鉄筋識別				ネジプレート の先端、鉄筋の出		グラウト充填	検査 数量		
15	C1 X1,Y1	490	35	白				○		○	7		
10	C2 X1,Y3	〃	〃	〃							－		
7	C3 X1,Y4	〃	〃	〃				○		○	5		
16	C5 X2,Y1	〃	〃	〃				○		○	9		
13	C6 X2,Y2	〃	〃	〃				○		○	9		
11	C7 X2,Y3	〃	〃	〃				○		○	7		
8	C15 X2,Y4	〃	〃	〃				○		○	15		
4	C16 X1,Y5	490	35	白				○		○	7		
5	C8 X2,Y5	〃	〃	〃				○		○	15		
6	C12 X3,Y5	〃	〃	〃				○		○	11		
9	C14 X3,Y4	〃	〃	〃				○		○	9		
12	C11 X3,Y3	〃	〃	〃							－		
14	C10 X3,Y2	〃	〃	〃				○		○	11		
1	C4 X1,Y6	490	35	白				○		○	5		
2	C9 X2,Y6	〃	〃	〃				○		○	7		
3	C13 X3,Y6	〃	〃	〃				○		○	11		
備考													
・ネジプレート設置位置は配筋詳細図参照のこと ・検査数量の○/△の数値は、○：東側または北側 △：西側または南側の金物数（上下端筋合計）													

資料 3-6 無機グラウト材フロー値管理表（様式 4） 記入例

無機グラウト材フロー値管理表(ネジプレート定着工法)							
工事名		●●新築工事			施工管理管理者	▲▲▲	印
使用箇所		基礎梁、柱 主筋			検査者	○○○○	作業者
施工総箇所数		○○○箇所	予定総量	5000g×○缶 =○○g	作業者	■●●■	資格確認
無機グラウトタイプ		タイプM2	実施数量	5000g×○缶 =○○g	完了率	▲▲%	(有)無
打設 No	施工日	外気温(℃)	水温(℃)	水量(cc)	W/G(%)※	フロー値(mm)	合否判定
基準 値	—	5～40	同左	1700～1900	34～38	90～180	—
1	▲▲/○/■●	23	23	1800	36	110	(合)否
2							合・否
3							合・否
4							合・否
5							合・否
6							
7							
8							
9							
10							
備考		詳細別紙(ファイル No▲▲ 材料受入検査記録)による					